

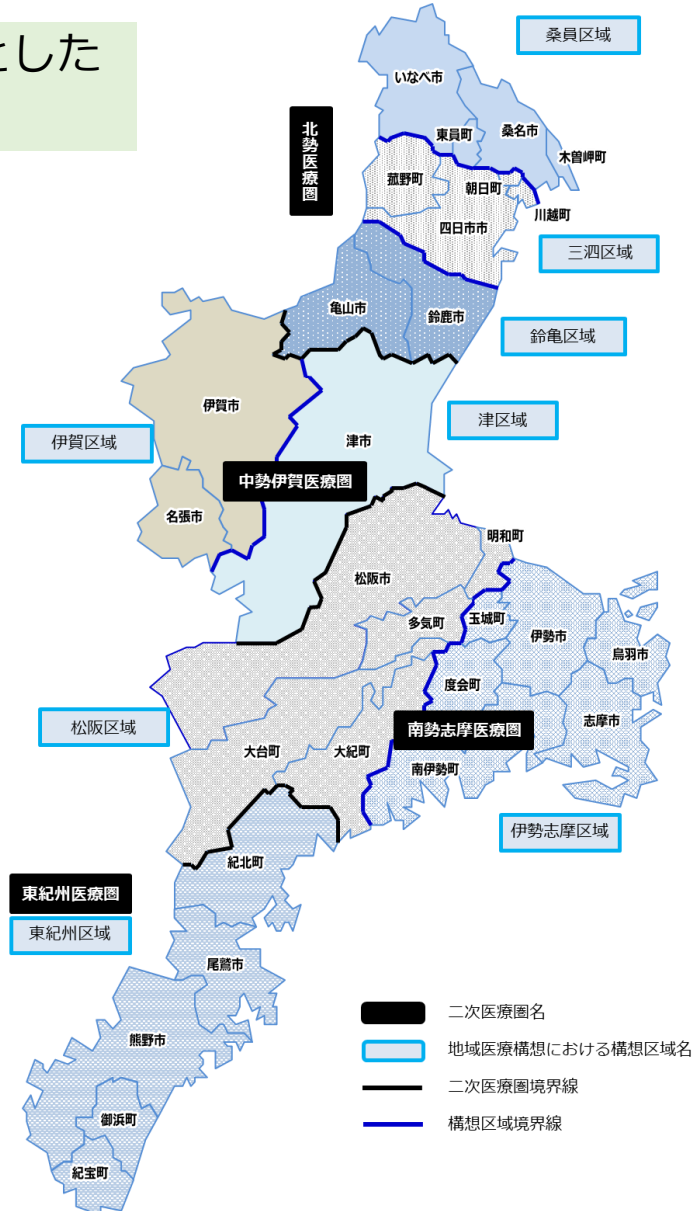
三重県の看護職員等の現状

三重県医療保健部
医療人材課

三重県の二次医療圏・構想区域

三重県の地域医療構想では、二次医療圏をベースとした8つの構想区域を想定している。

二次医療圏	構想区域	構成市町
北勢	桑員	桑名市、いなべ市、木曾岬町、東員町
	三泗	四日市市、菰野町、朝日町、川越町
	鈴亀	鈴鹿市、亀山市
中勢伊賀	津	津市
	伊賀	名張市、伊賀市
南勢志摩	松阪	松阪市、多気町、明和町、大台町、大紀町
	伊勢志摩	伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、南伊勢町
東紀州	東紀州	尾鷲市、熊野市、紀北町、御浜町、紀宝町



(1) 看護職員従事者数

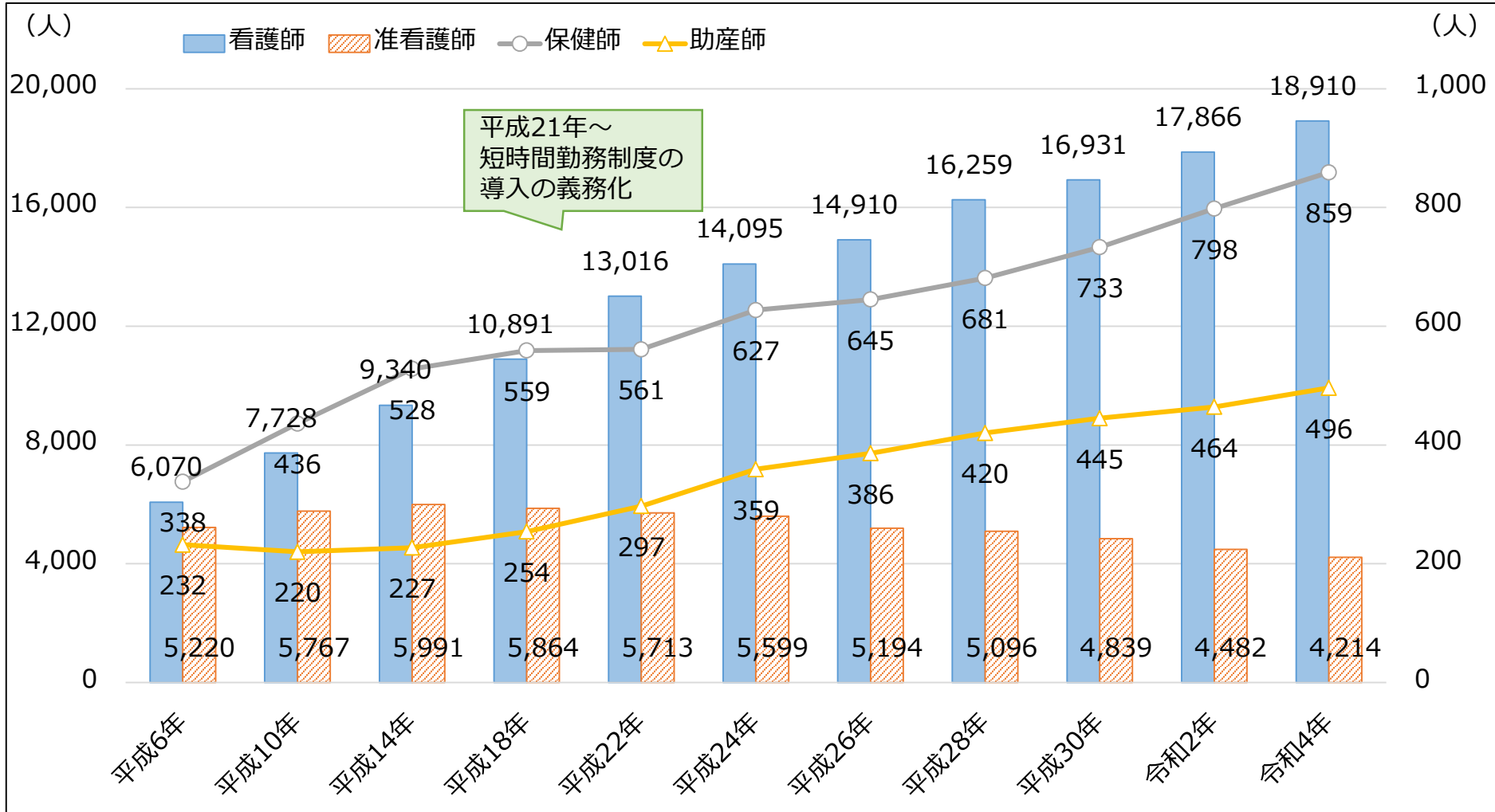
令和4年末における人口10万人あたりの看護師・保健師・准看護師数は全国平均を上回っている。助産師数は全国平均を下回っているが、令和2年末に比べ全国順位は改善した。

(単位：人)	令和4年			令和2年		
	三重県		全国	三重県		全国
	就業者数	人口 10万対	人口 10万対	就業者数	人口 10万対	人口 10万対
看護師 (全国順位)	18,910	1,085.5 (32位)	1,049.8	17,866	1,009.2 (35位)	1,015.4
保健師 (全国順位)	859	49.3 (38位)	48.3	798	45.1 (38位)	44.1
助産師 (全国順位)	496	28.5 (39位)	30.5	464	26.2 (41位)	30.1
准看護師 (全国順位)	4,214	241.9 (26位)	203.5	4,482	253.2 (26位)	225.6

※ () 内は全国順位を示す

(2) 看護職員従事者数(実人員)の推移

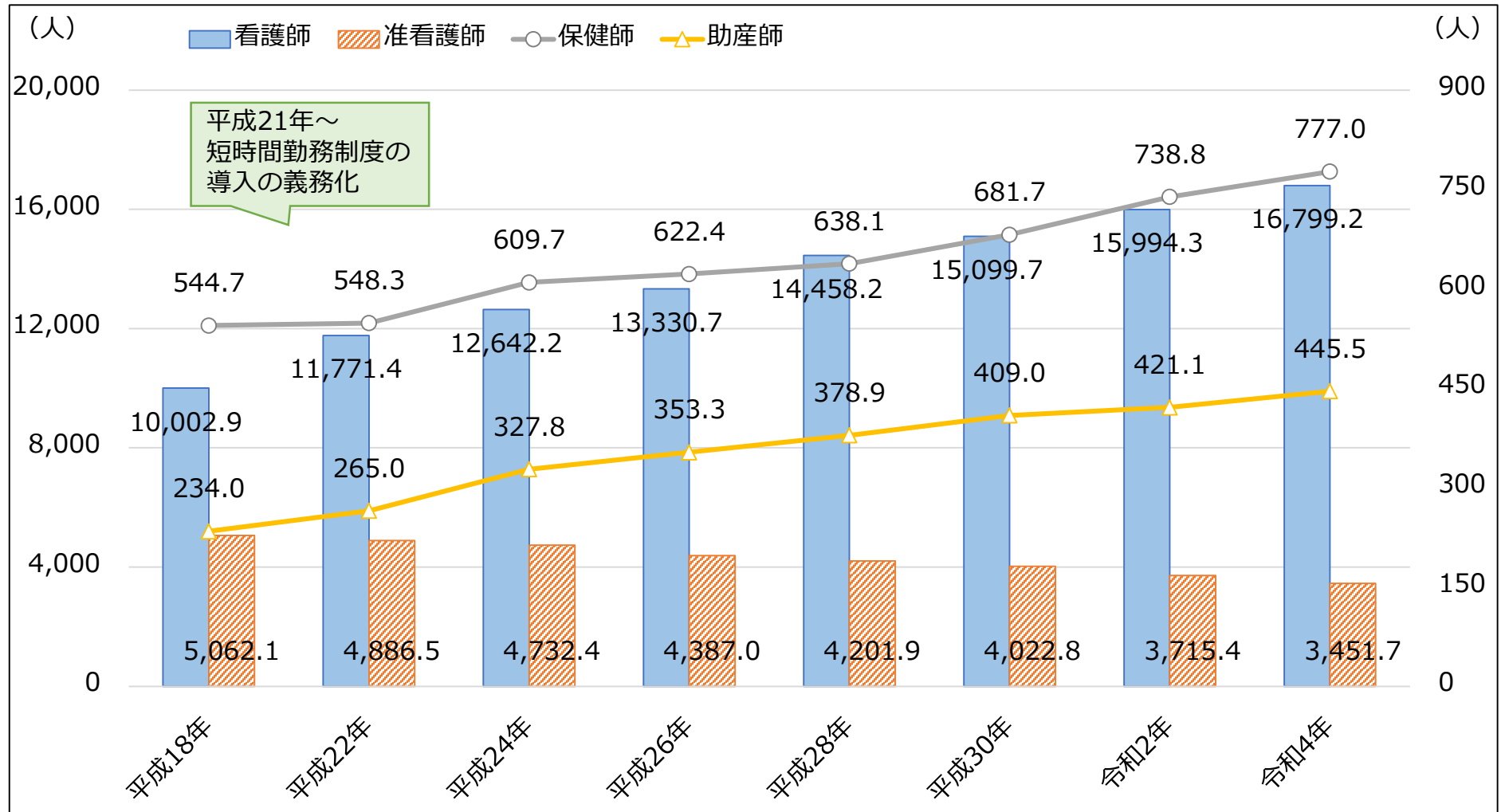
看護師・保健師・助産師数(実人員)は増加し、准看護師数(実人員)は減少している。



出典：厚生労働省「平成6年～26年、平成30年、令和2年～4年 衛生行政報告例」
 三重県「平成28年 保健師助産師看護師准看護師業務従事者届再集計」

(3) 看護職員従事者数(常勤換算)の推移

看護師・保健師・助産師数(常勤換算)は増加し、准看護師数(常勤換算)は減少している。

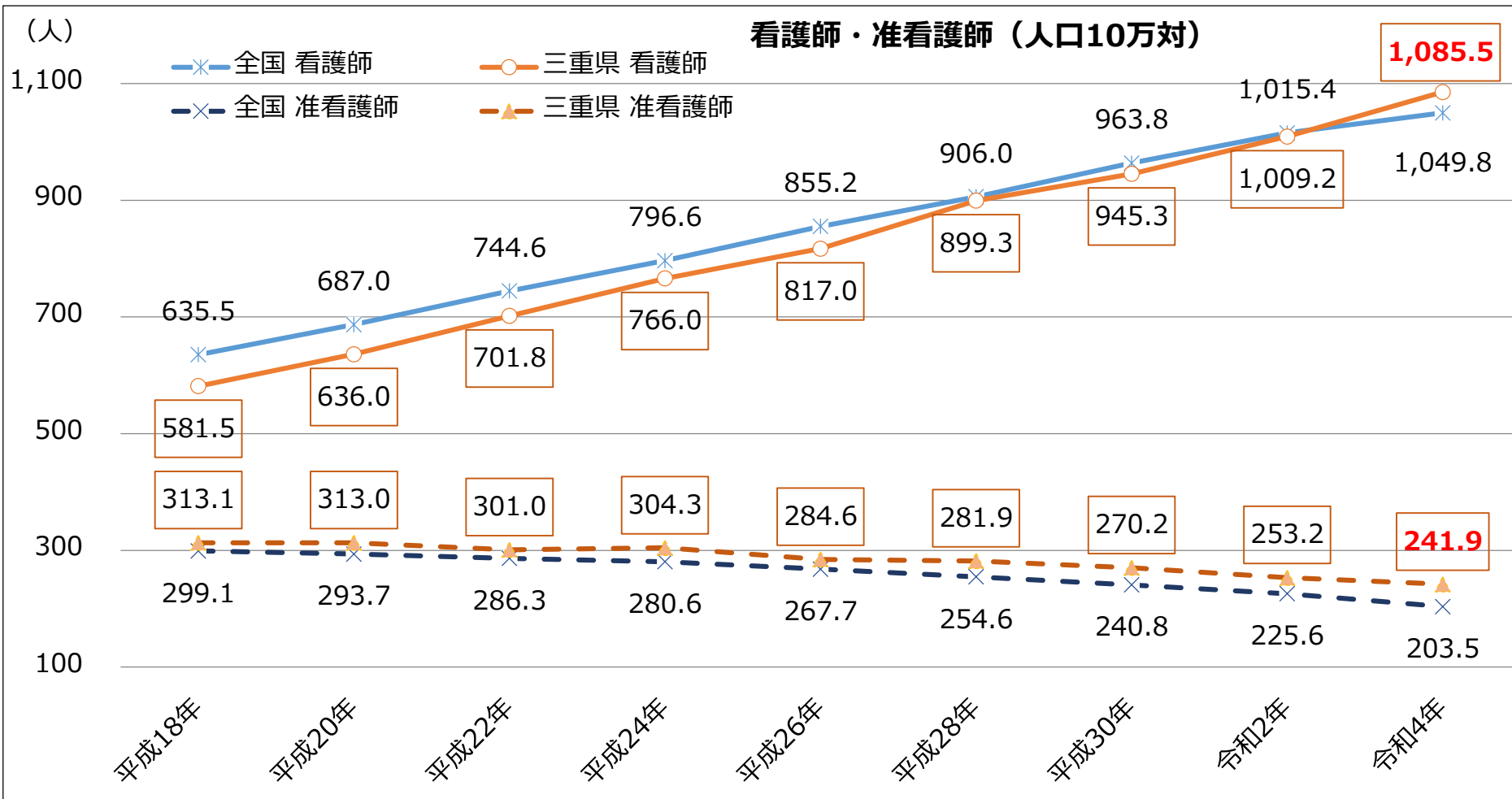


平成21年～
短時間勤務制度の
導入の義務化

出典：厚生労働省「平成18年～26年、平成30年、令和2年～4年 衛生行政報告例」
三重県「平成28年 保健師助産師看護師准看護師業務従事者届再集計」

(4) 看護師・准看護師従事者数（人口10万対）の推移

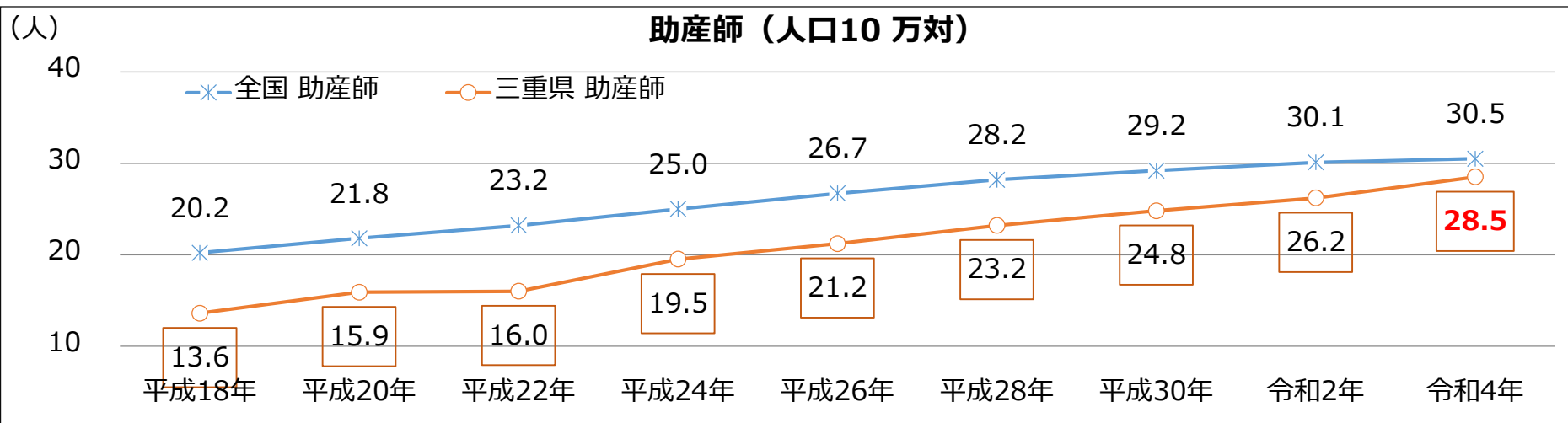
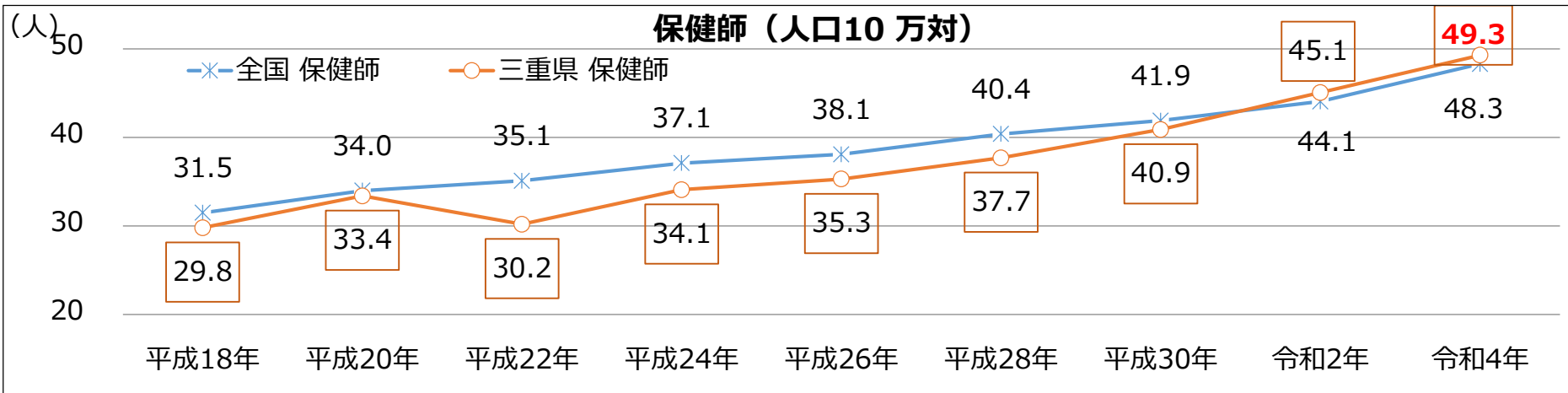
人口10万人あたりの看護師数は増加しており、令和4年には全国平均を上回った。
人口10万人あたりの准看護師数は減少傾向にあるが、全国平均を上回って推移している。



出典：厚生労働省「平成18年～26年、平成30年、令和2年～4年 衛生行政報告例」
三重県「平成28年 保健師助産師看護師准看護師業務従事者届再集計」

(5) 保健師・助産師従事者数（人口10万対）の推移

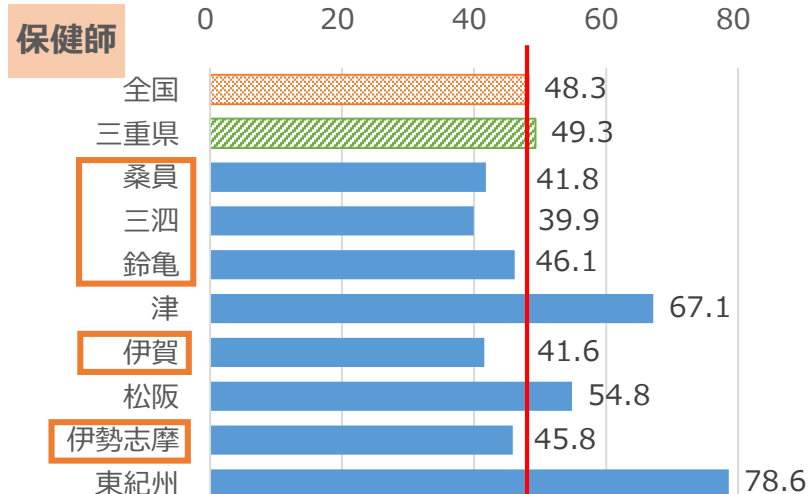
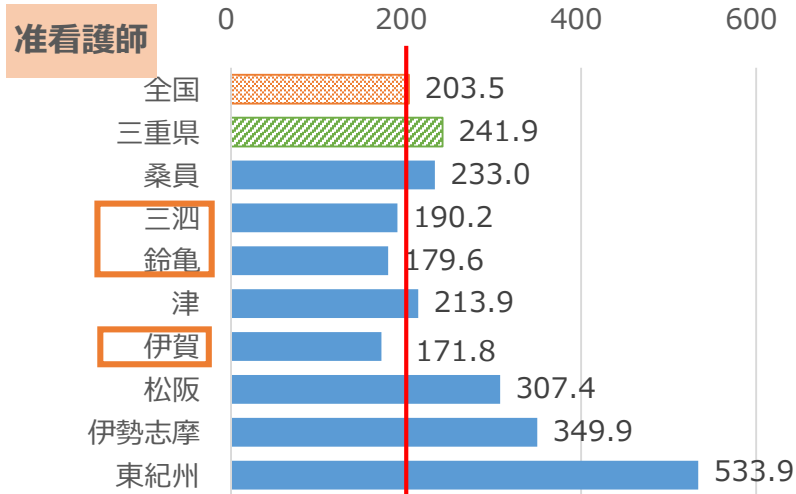
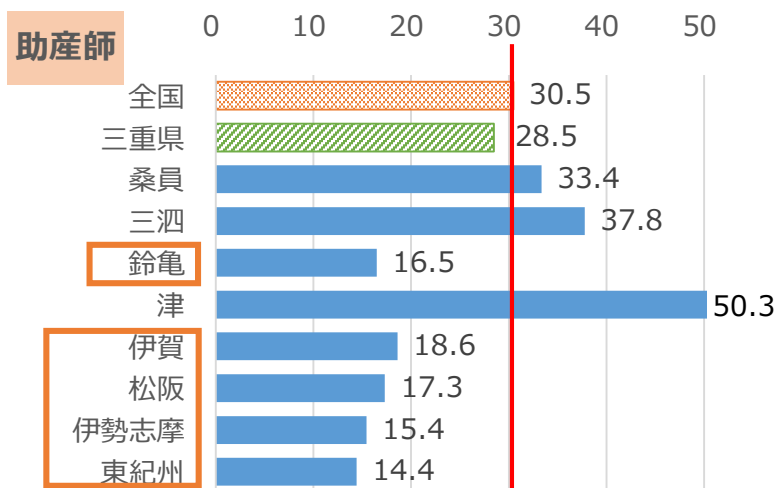
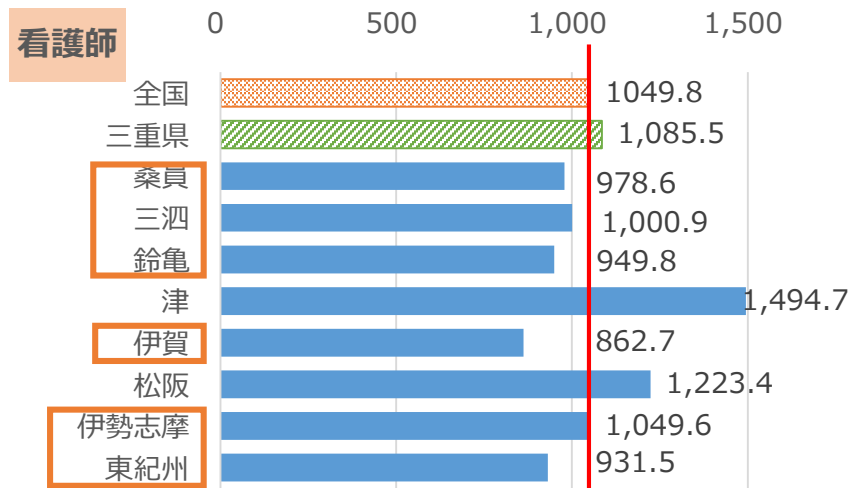
人口10万人あたりの保健師・助産師数は増加傾向にある。
助産師数は全国平均を下回って推移しているが、全国値との差は縮まりつつある。



出典：厚生労働省「平成18年～26年、平成30年、令和2年～4年 衛生行政報告例」
三重県「平成28年 保健師助産師看護師准看護師業務従事者届再集計」

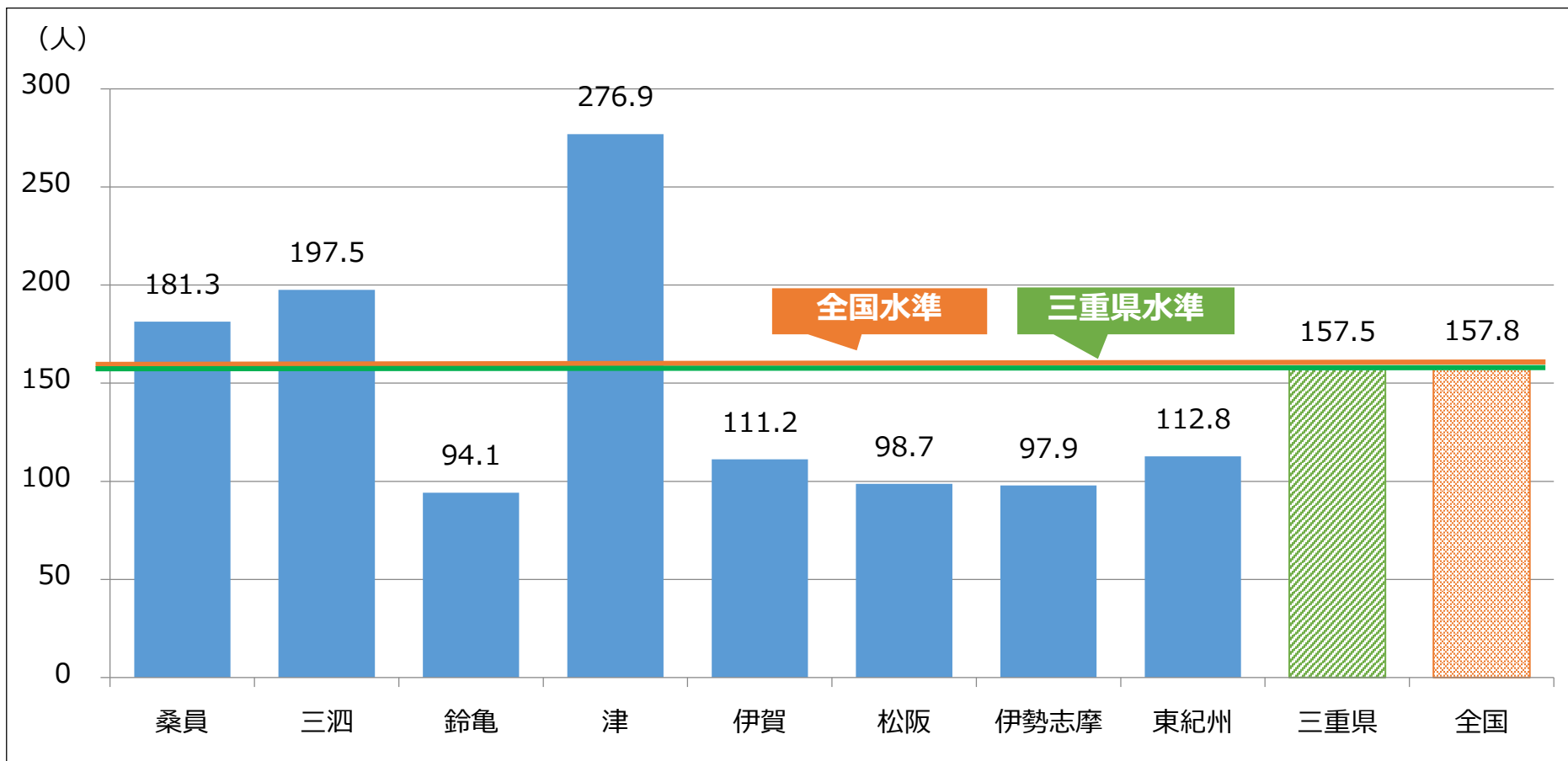
(6) 地域別 (二次医療圏・構想区域別) 人口10万人あたりの看護職員従事者数

看護師数は、桑員、三泗、鈴亀、伊賀、伊勢志摩、東紀州区域が全国平均より少ない。
助産師数は、鈴亀、伊賀、松阪、伊勢志摩、東紀州区域が全国平均より少ない。



(7) 構想区域別15～49歳女性人口10万人あたりの助産師数

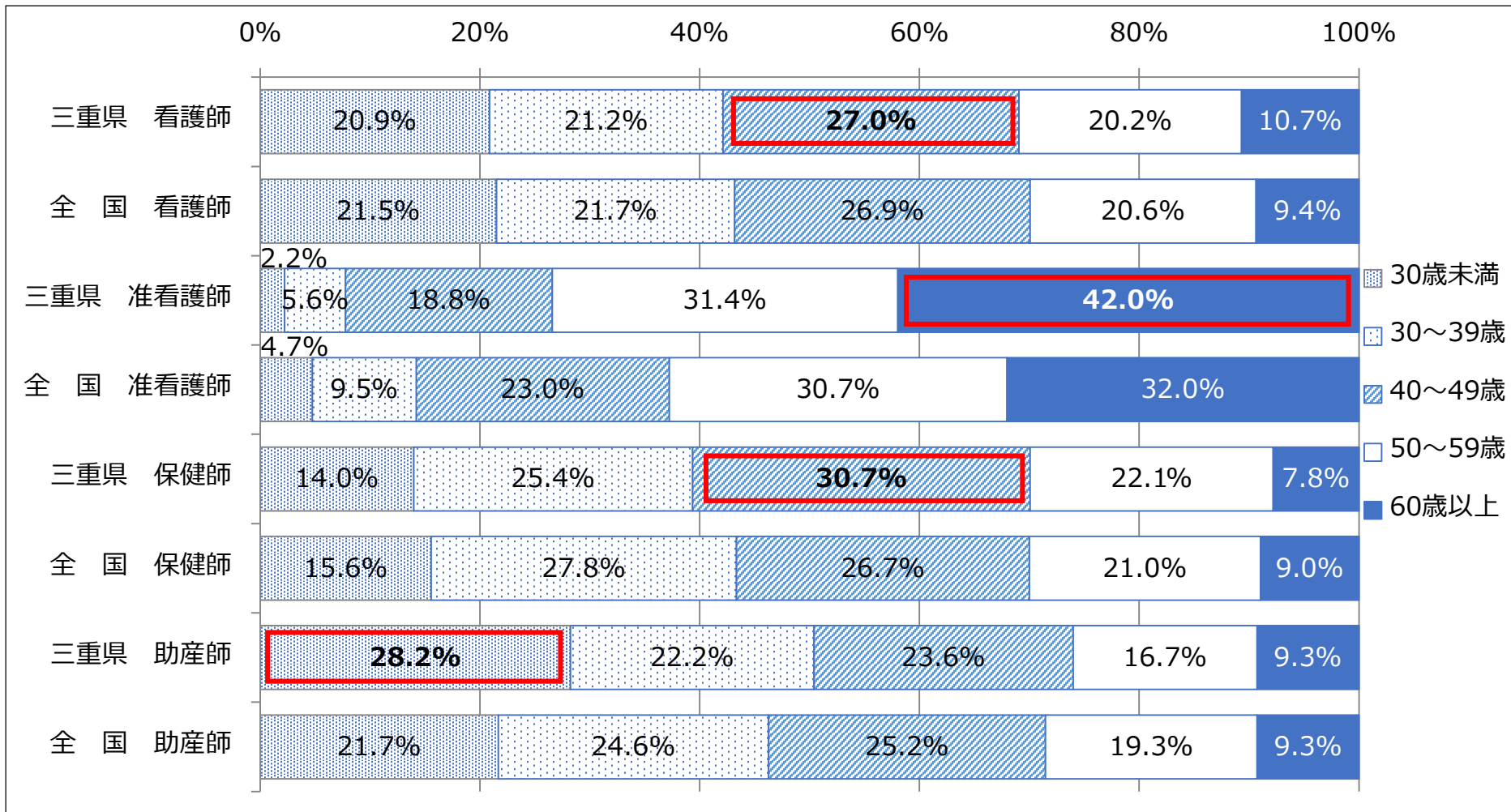
三重県の15～49歳女性人口10万人あたりの助産師数は全国水準をやや下回っており、また、地域偏在がみられる。



出典：(三重県構想区域別15～49歳女性人口) 三重県月別人口調査の年齢別人口(令和4年10月1日現在)
(全国、三重県全体15～49歳女性人口) 総務省「人口推計」(令和4年10月1日現在)
(助産師従事者数) 厚生労働省「令和4年 衛生行政報告例」

(8) 職種別・年齢階級別看護職員従事者数

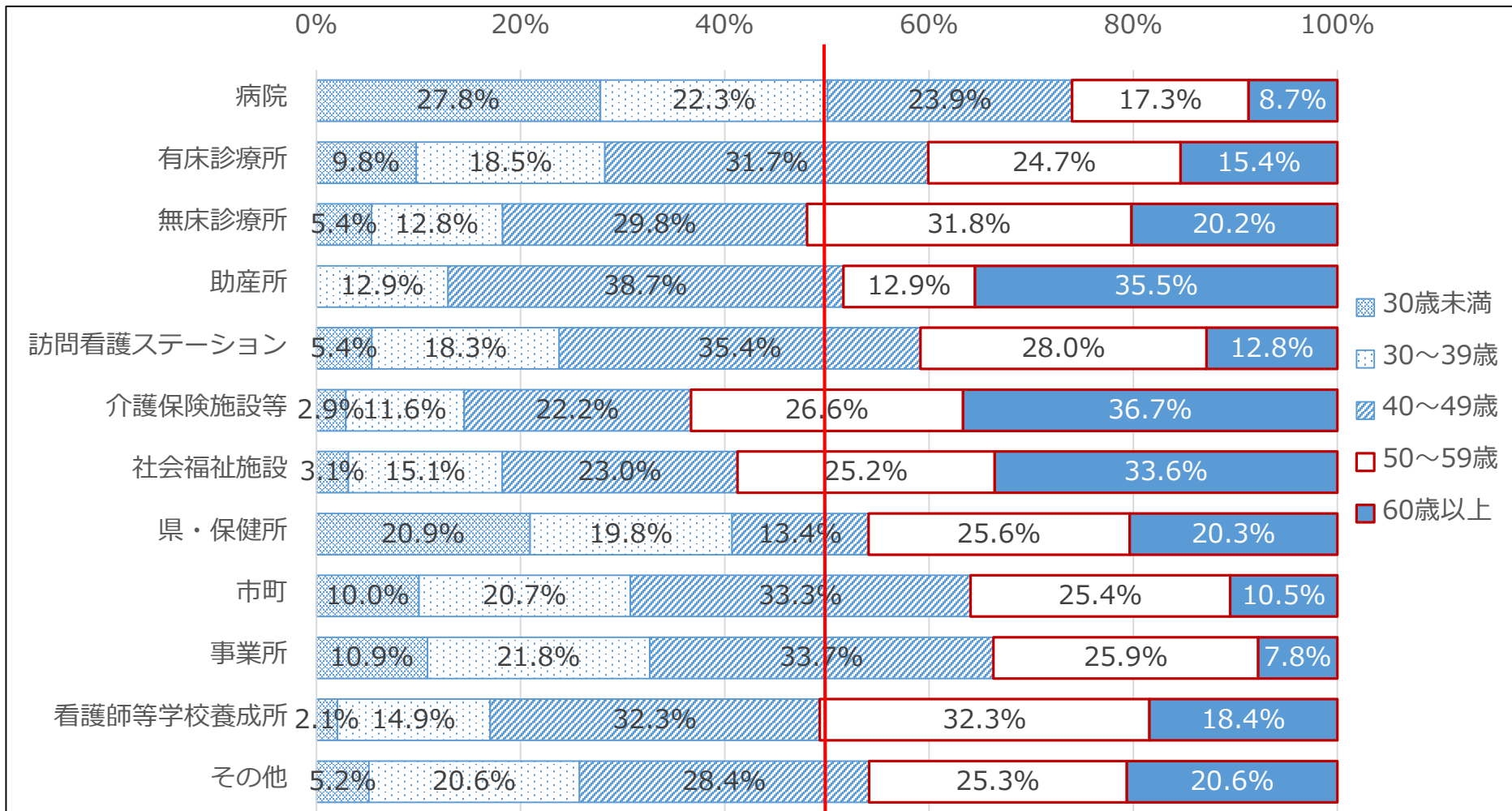
看護師・保健師は40歳代が、助産師は20歳代が最も多い。
准看護師は60歳以上が最も多く、他職種と比較し年齢層が高い。



※端数処理しているため、合計が100.0%にならない場合がある。

(9) 就業場所別・年齢別看護職員従事者割合

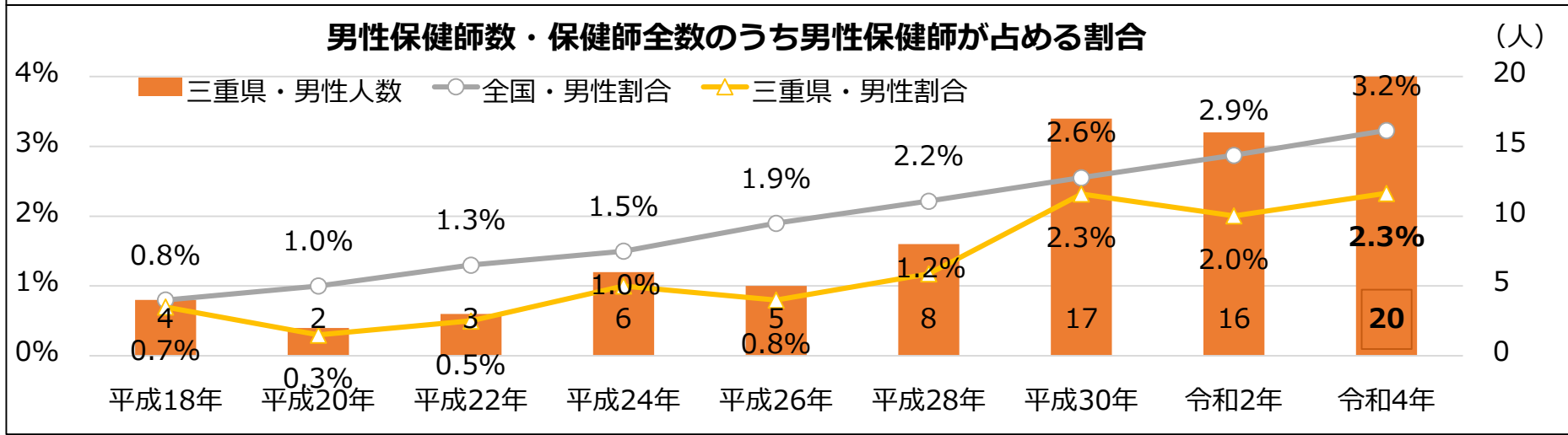
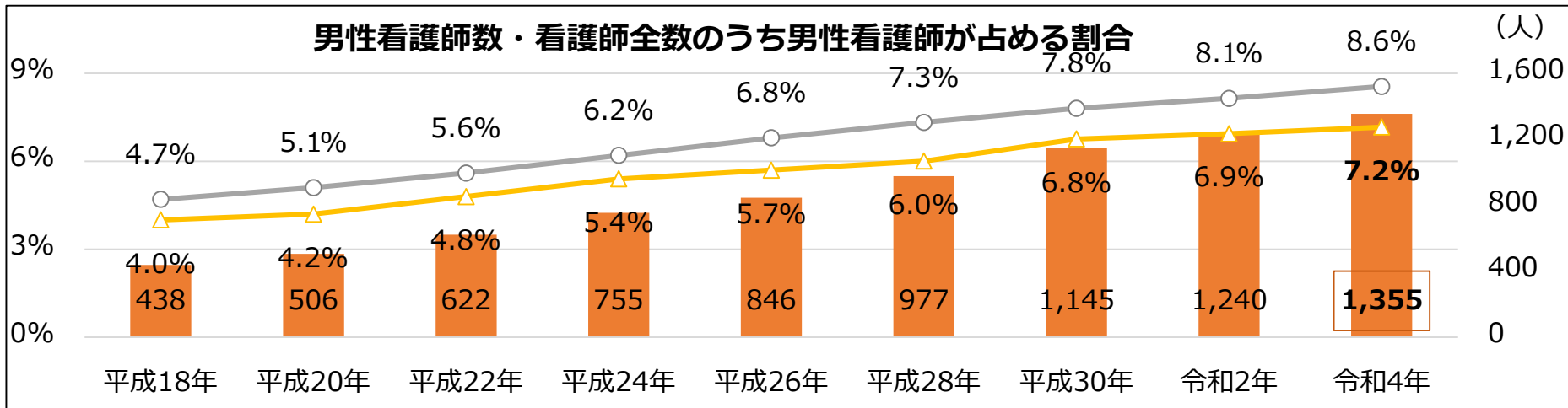
無床診療所、介護保険施設等、社会福祉施設、看護師等学校養成所に従事する看護職員のうち、半数以上が50歳以上となっている。



※端数処理しているため、合計が100.0%にならない場合がある。

(10) 男性看護師・保健師数の推移

三重県における男性看護師・保健師数は増加傾向にあるが、男性が占める割合は、全国値と比べて低い値で推移している。



出典：厚生労働省「平成18年～26年、平成30年、令和2年～4年 衛生行政報告例」
 三重県「平成28年 保健師助産師看護師准看護師業務従事者届再集計」

(11) 県内就業場所別看護職員数

令和4年末に病院の就業者数が減少に転じた。一方で、訪問看護ステーションの就業者数は平成24年末の2倍以上の増加となっており、また、コロナ禍で県・保健所・市町の就業者数が増加するなど、就業場所の多様化が進んでいる。

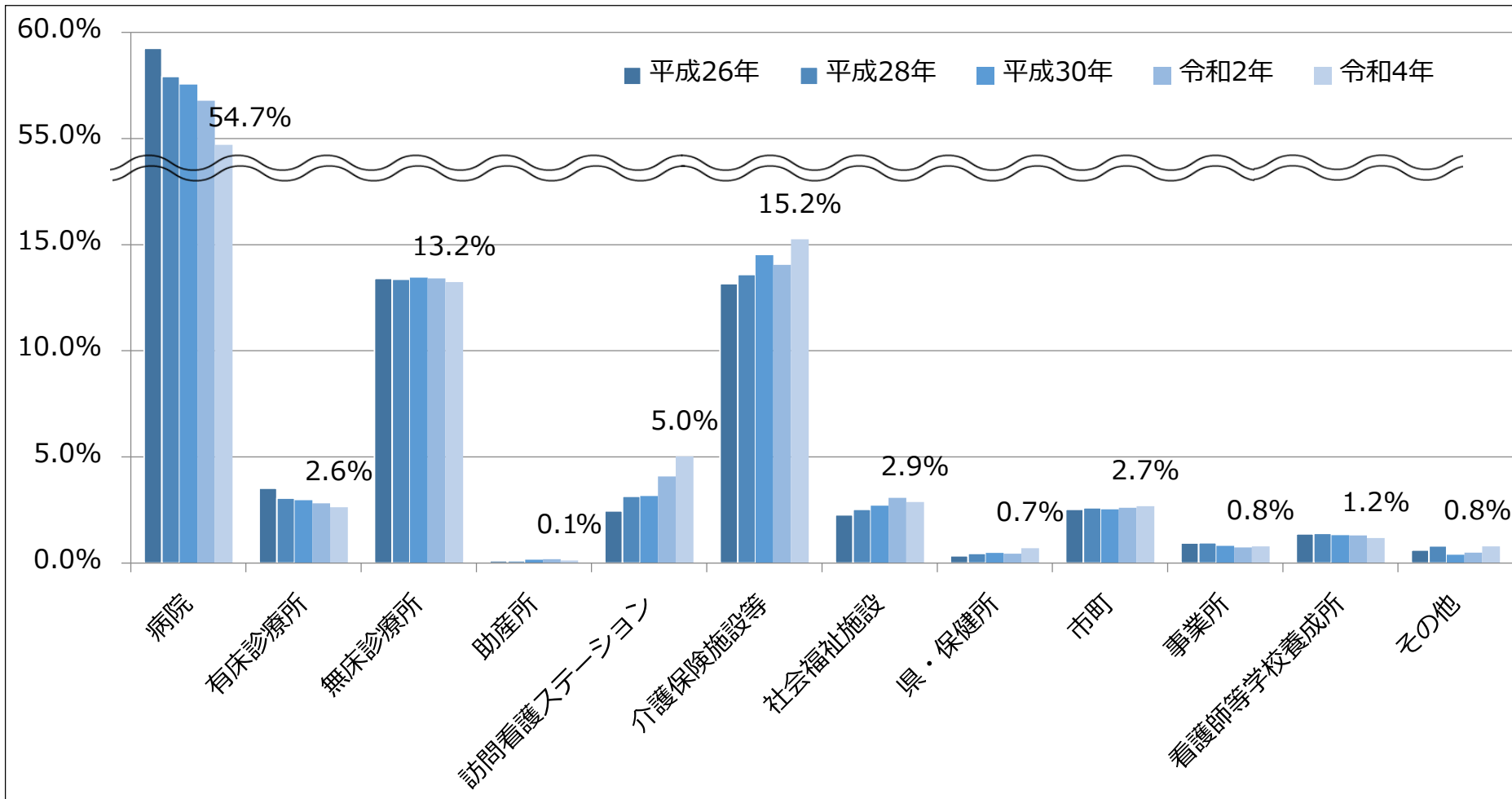
	病院	診療所		助産所	訪問看護ステーション	介護保険施設等	社会福祉施設	県・保健所	市町	事業所	看護師等学校養成所	その他	計 (人)
		有床	無床										
平成24年	12,090	874	2,837	25	505	2,716	432	103	459	227	285	127	20,680
平成26年	12,524	745	2,833	26	519	2,781	481	72	534	200	290	130	21,135
平成28年	13,007	688	3,004	26	707	3,053	568	103	586	215	316	183	22,456
平成30年	13,204	679	3,087	37	724	3,327	621	111	580	185	302	91	22,948
令和2年	13,406	666	3,167	44	964	3,317	727	106	614	175	307	117	23,610
令和4年	13,390	644	3,242	31	1,232	3,733	703	172	657	193	288	194	24,479

※矢印は令和2年比

出典：厚生労働省「平成24年～26年、平成30年、令和2年～4年 衛生行政報告例」
三重県「平成28年 保健師助産師看護師准看護師業務従事者届再集計」

(12) 就業場所別看護職員従事者割合

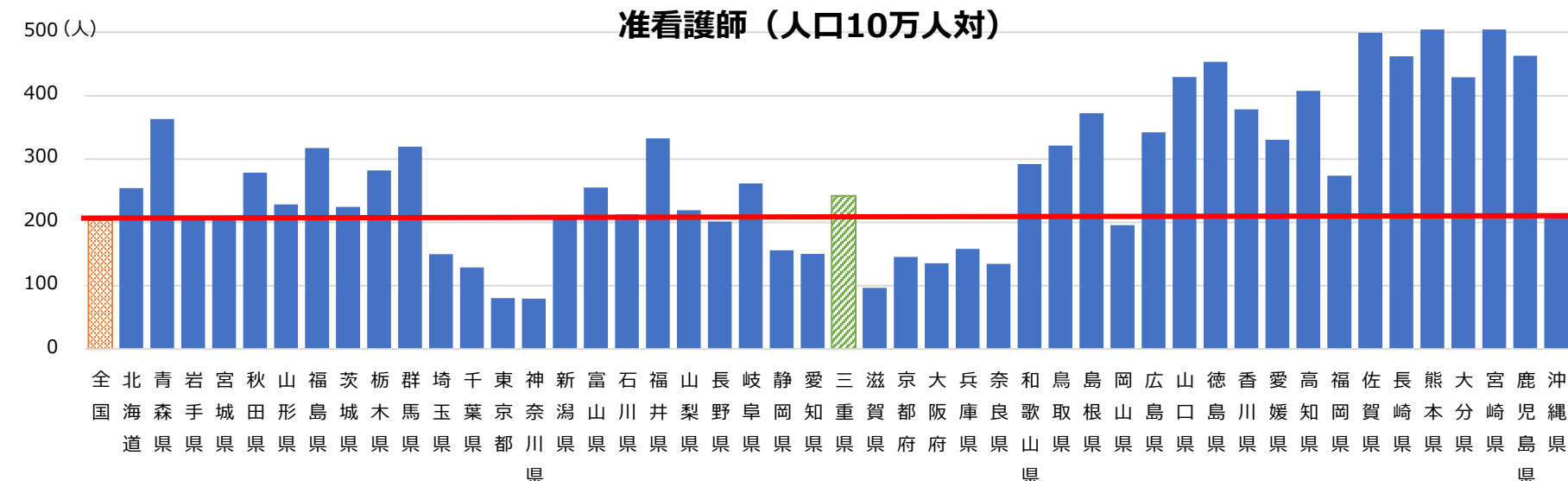
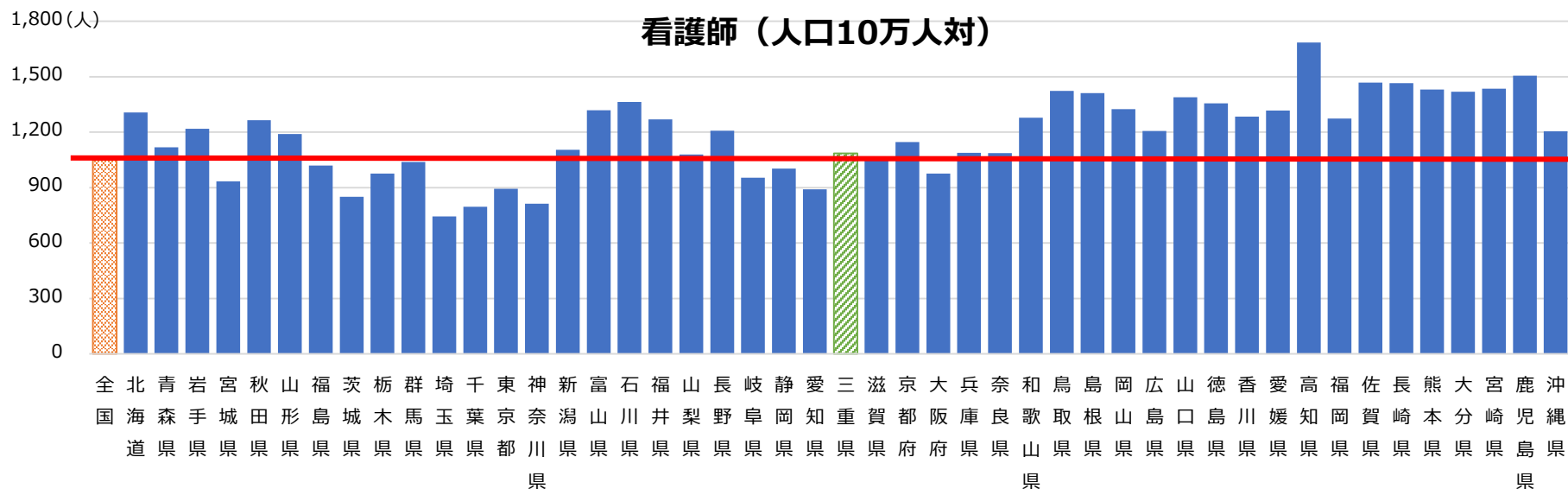
病院の就業者数が半数以上を占める（令和4年末：54.7%）が、その割合は減少傾向にある。また、訪問看護ステーションの就業者数の割合は年々増加している。



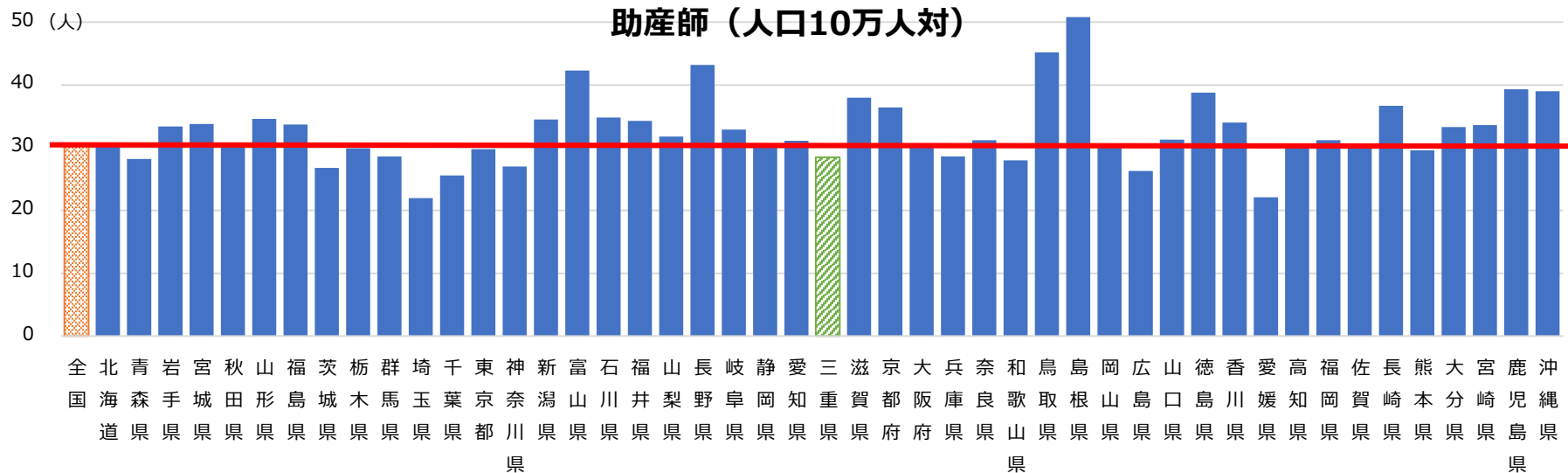
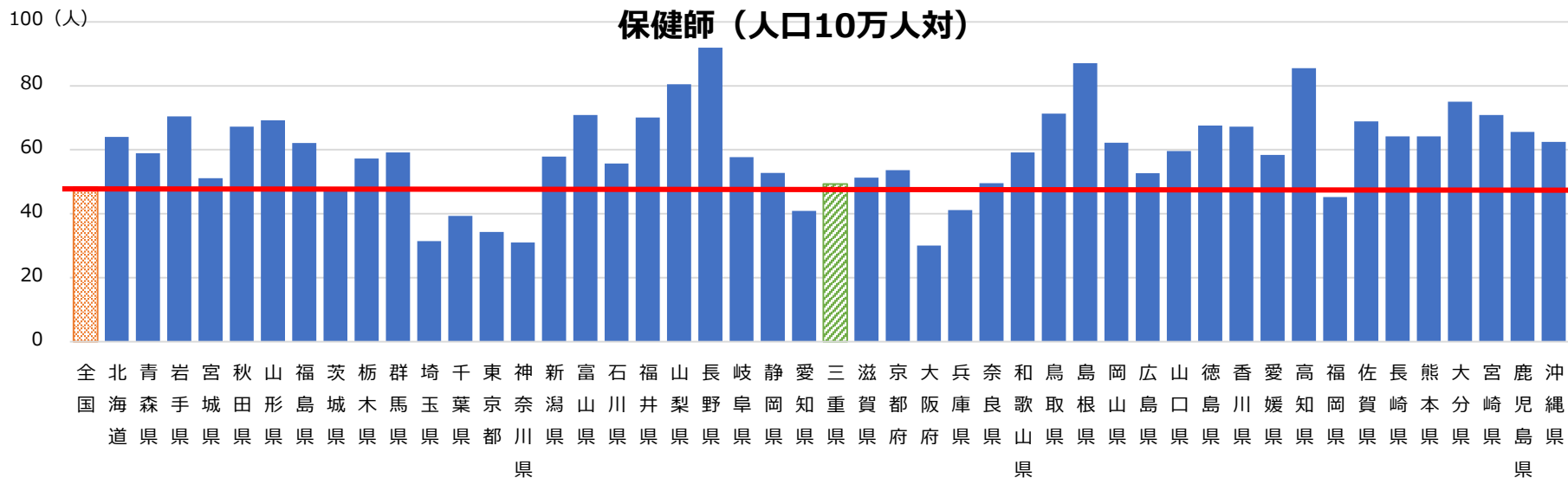
※端数処理しているため、合計が100.0%にならない場合がある。

出典：厚生労働省「平成26年、平成30年、令和2年～4年 衛生行政報告例」
 三重県「平成28年 保健師助産師看護師准看護師業務従事者届再集計」

(13) 都道府県別の看護師・准看護師従事者数（人口10万対）

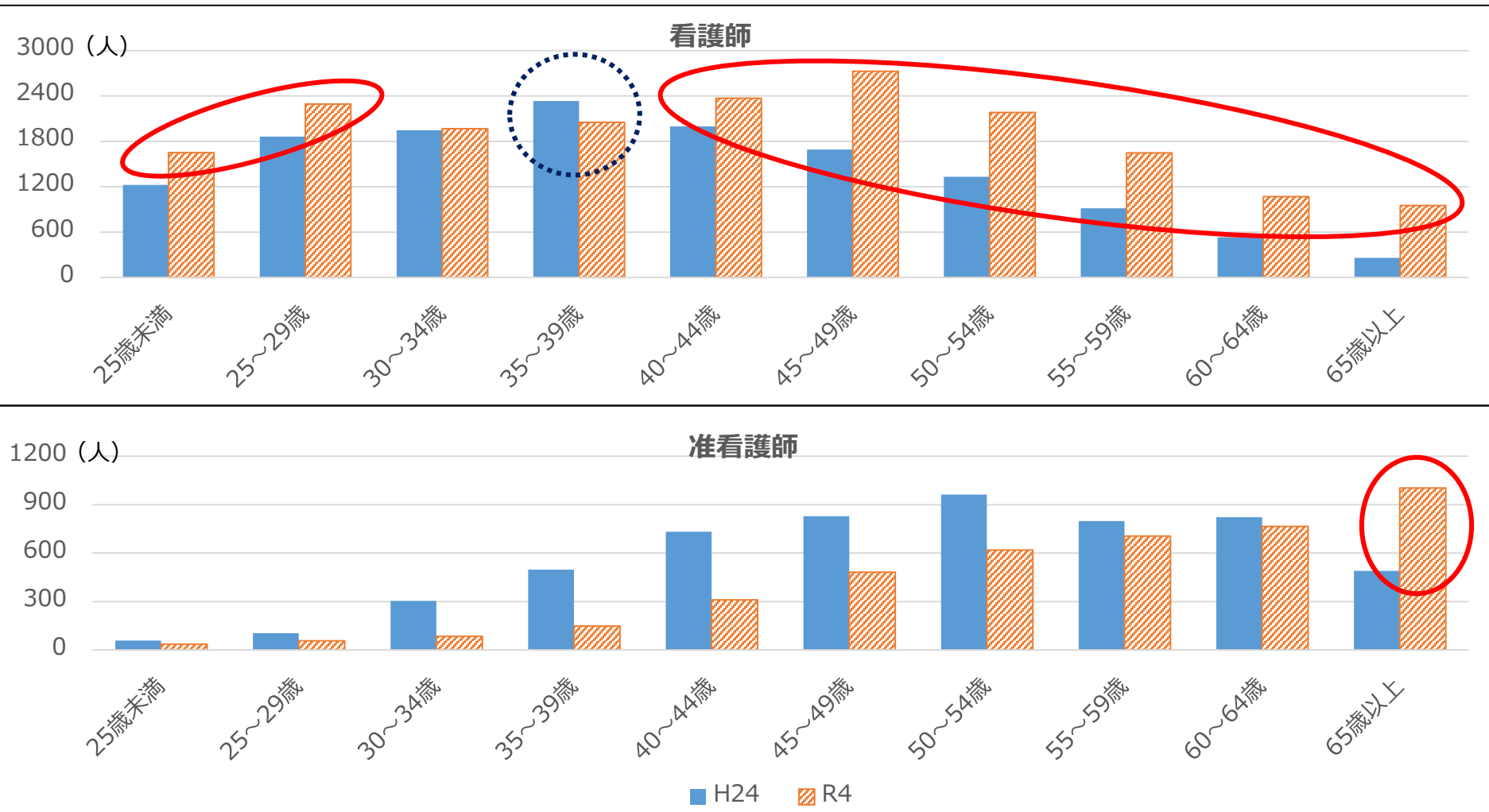


(14) 都道府県別の保健師・助産師従事者数（人口10万対）



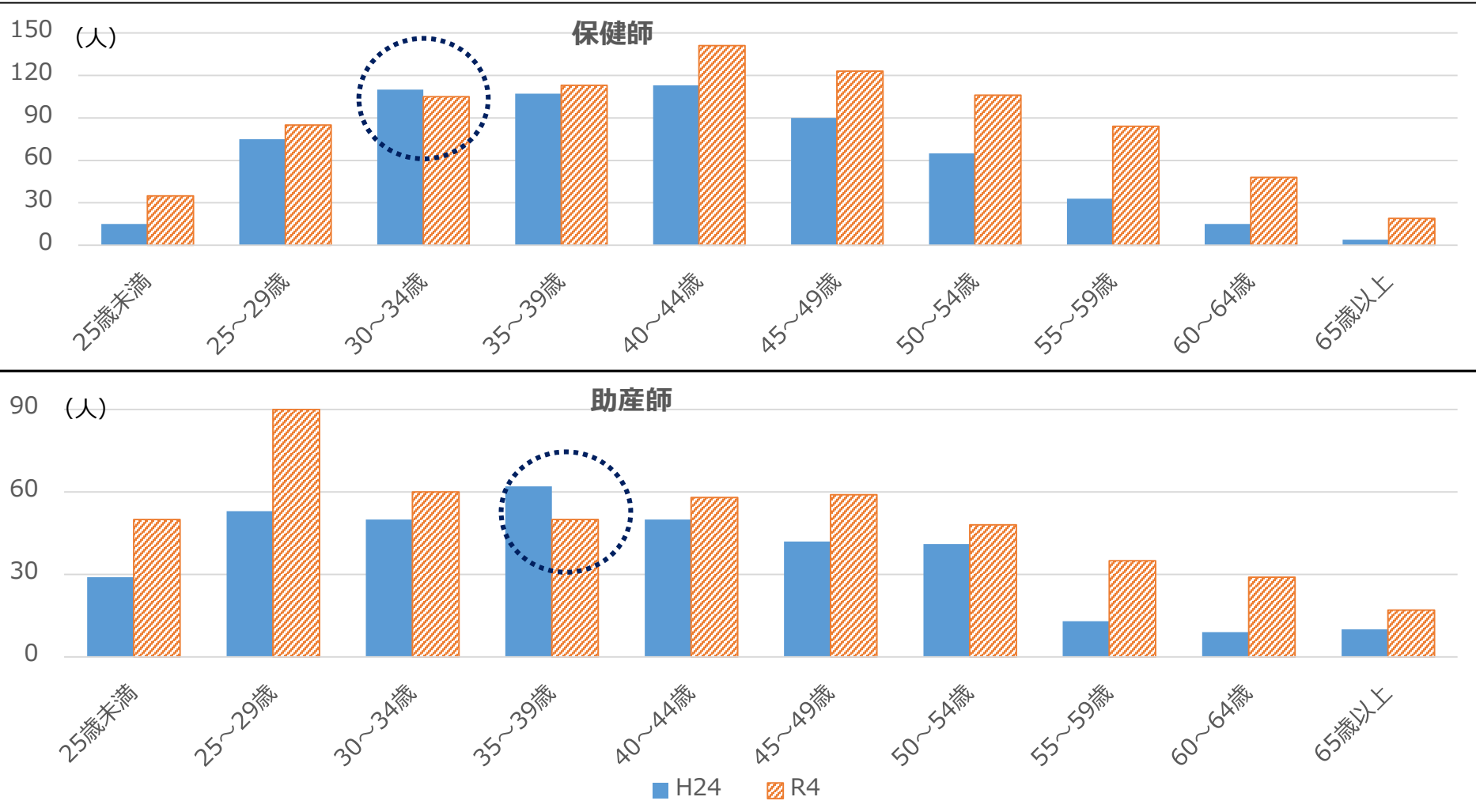
(15) 年齢別看護師・准看護師数 (H24,R4比較)

看護師は、20歳代、40歳以上の就業者数が大幅に増加している。
准看護師は、60歳以上の就業者数が増加している。

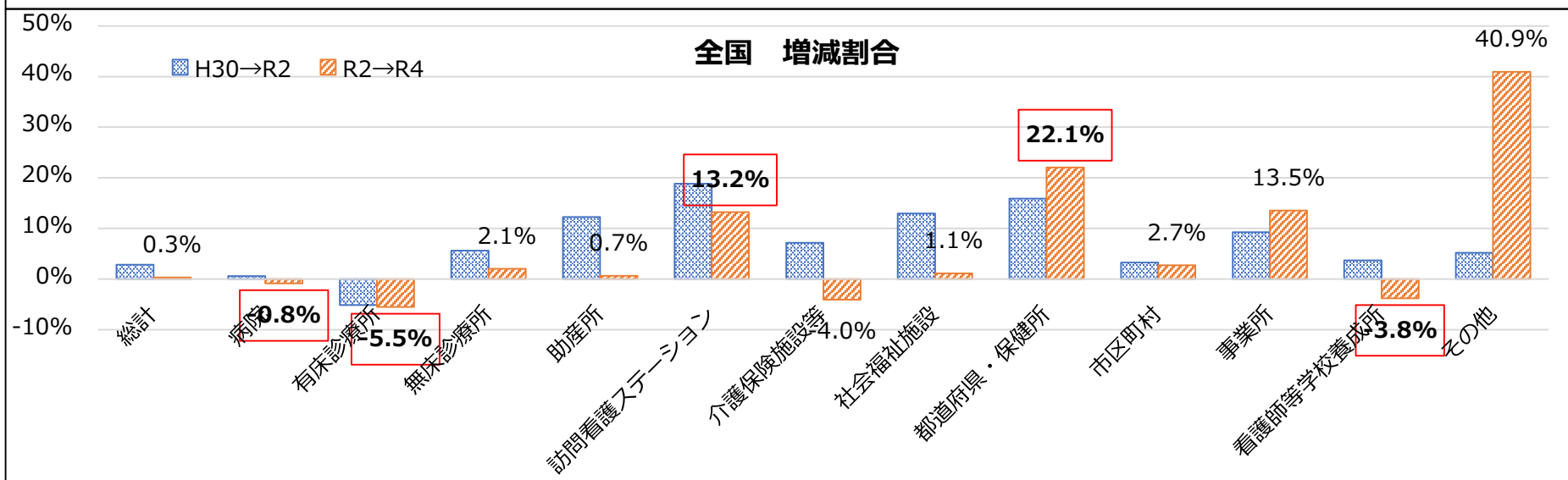
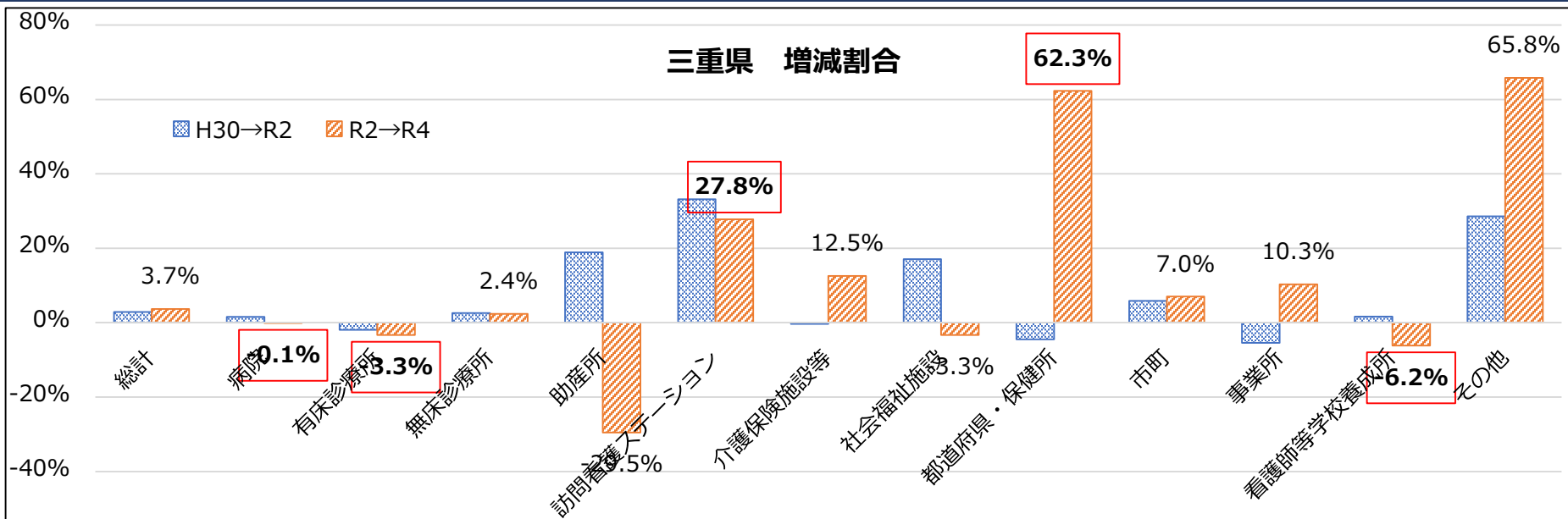


(16) 年齢別保健師・助産師数 (H24,R4比較)

保健師は30～34歳以外、助産師は35～39歳以外の年齢層において就業者数が増加している。



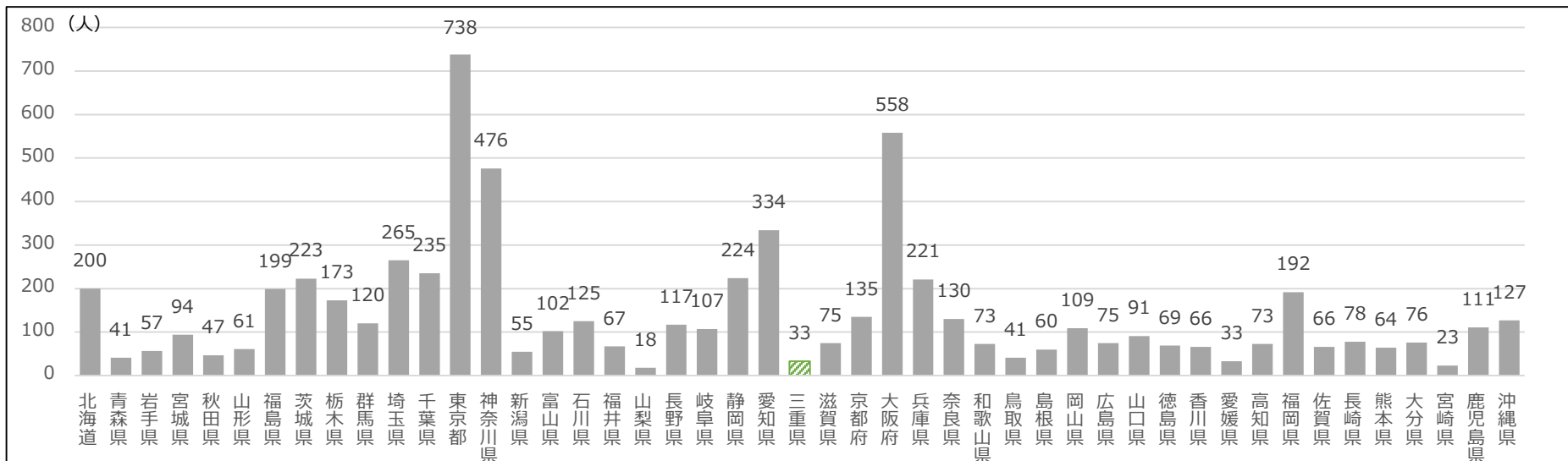
(17) 就業場所別看護職員従事者数の増減割合



(18) 特定行為研修修了者数①

令和4年末において特定行為研修修了者の就業者数は33人。
年齢階級別では40歳代、就業場所別では病院における就業者数が最も多い。

修了者総数 三重県 33人 / 全国 6,657人



年齢階級別(実人員)

30歳未満	0	(人)
30～39歳	11	
40～49歳	13	
50～59歳	7	
60歳以上	2	

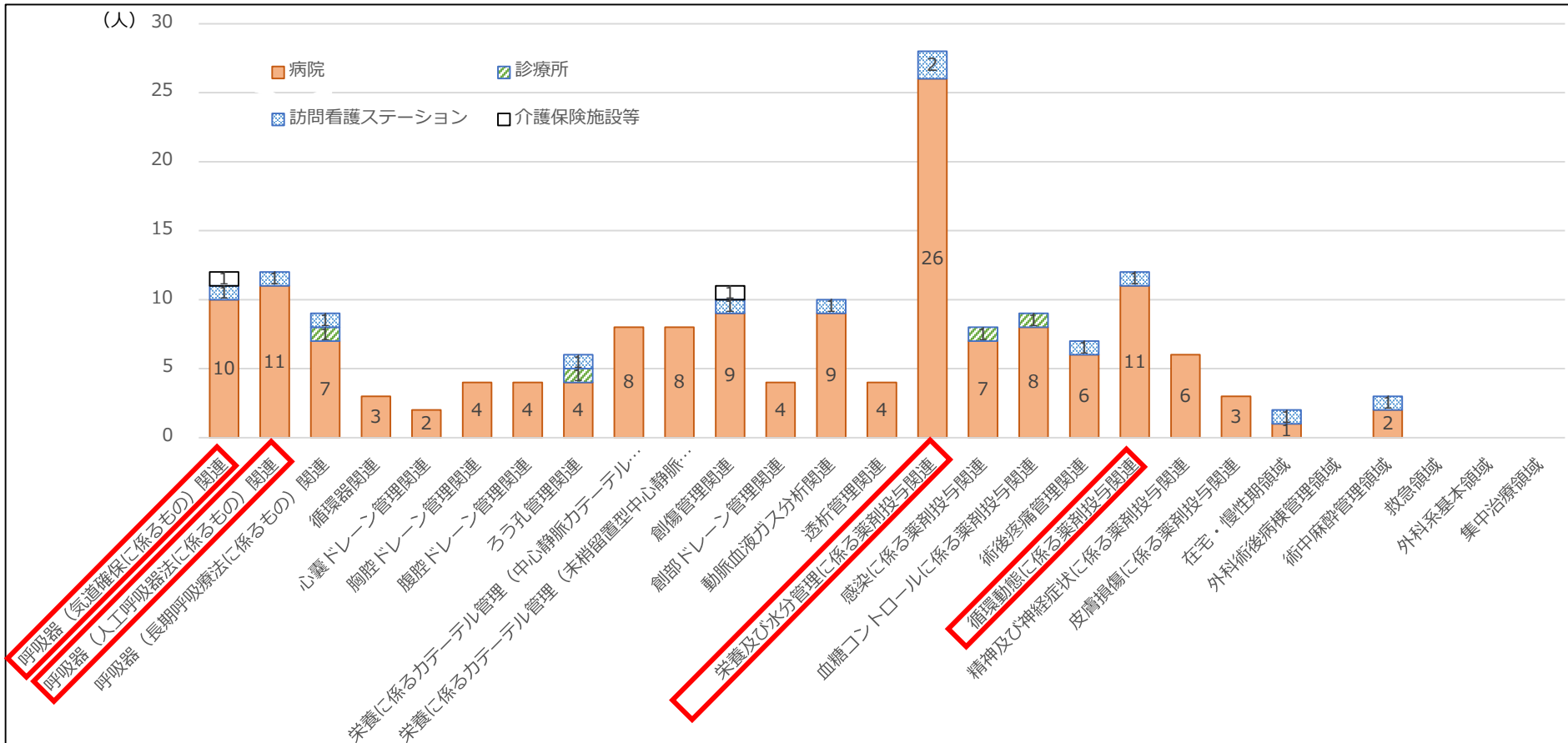
就業場所別(実人員)

病院	28	(人)
診療所	2	
訪問看護ステーション	2	
介護保険施設等	1	

(19) 特定行為研修修了者数②

修了区分・領域別パッケージでは「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」が一番多く、次いで「呼吸器（気道確保に係るもの）関連」「呼吸器（人工呼吸器療法に係るもの）関連」「循環動態に係る薬剤投与関連」が多い。

区分・領域別パッケージ

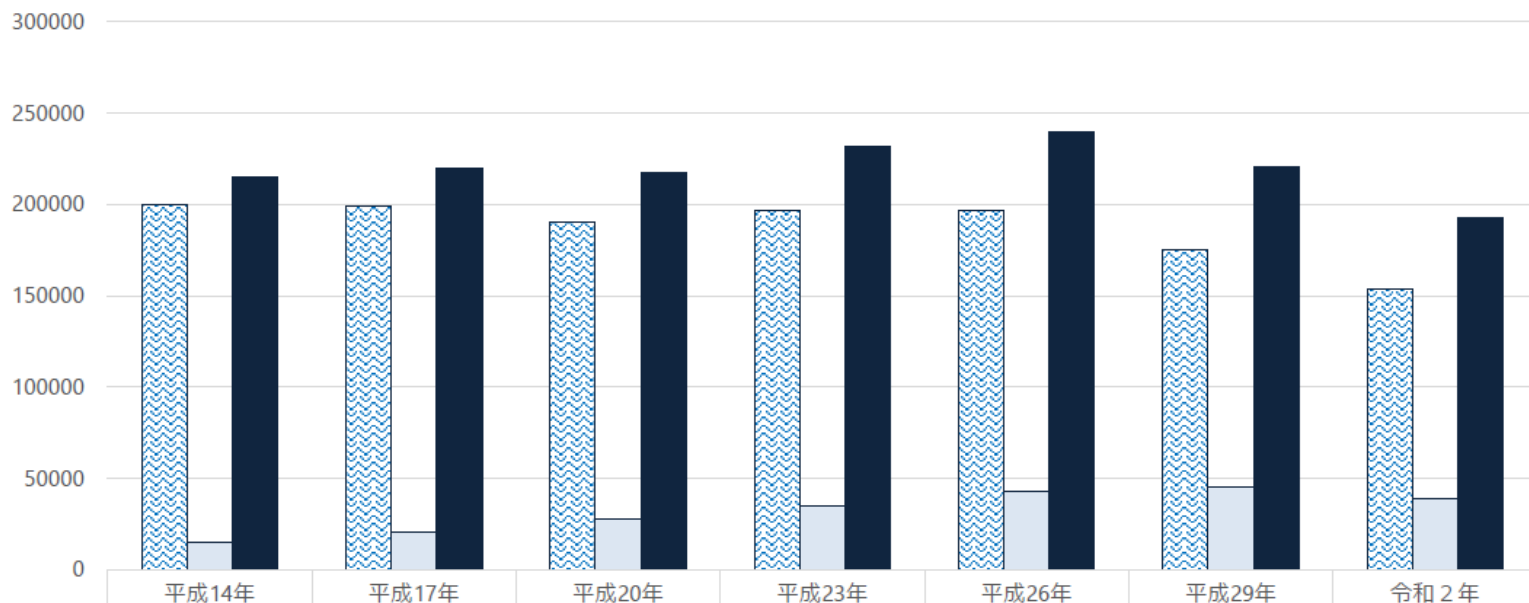


(20) 看護業務補助者等の従事者数

厚生労働省「中央社会保険医療協議会総会
(令和5年6月14日) 資料」

○ 医療機関に勤務する看護業務補助者の従事者数は、平成26年以降減少しており、看護業務補助者と介護福祉士の合計数も同様の傾向である。

看護業務補助者等の常勤換算従事者数の推移



	平成14年	平成17年	平成20年	平成23年	平成26年	平成29年	令和2年
■ 看護業務補助者	199977.6	199141.8	189838.3	196894.2	196696	175234.8	153382.3
■ 介護福祉士	14690.7	20600.5	27481	34942.4	42987.9	45197.1	38965.7
■ 看護業務補助者+介護福祉士	214668.3	219742.3	217319.3	231836.6	239683.9	220431.9	192348

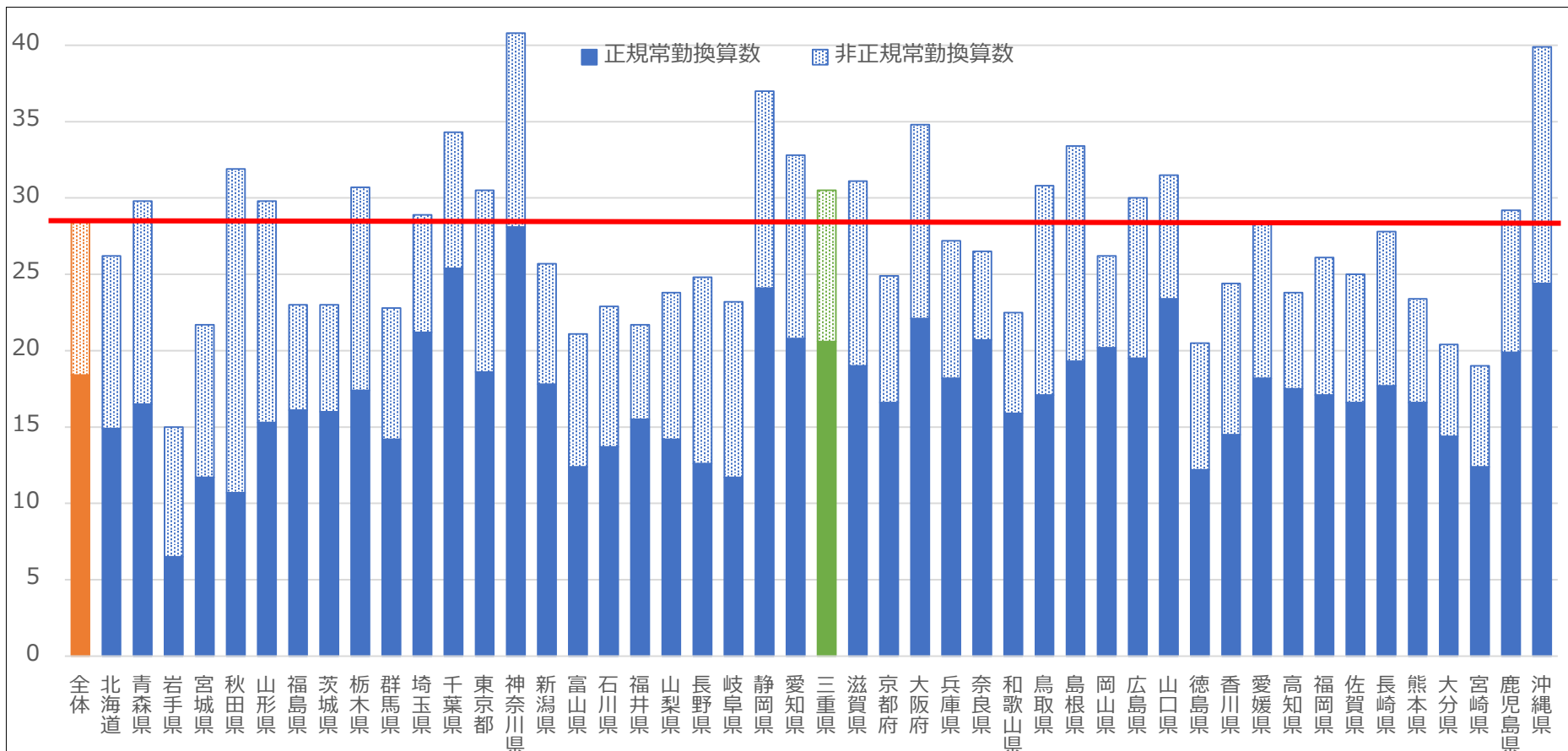
○ 看護業務補助者：保健師、助産師、看護師及び准看護師の免許の有無にかかわらず、看護業務の補助業務に従事する者（看護学校などの学生及び生徒は除く）。例えば、看護助手、介護職員等であり、ベッドメイキングや物品の運搬、患者の移送などを行う。

出典：令和2年 医療施設調査 全国編 第46表（報告書第9表） 病院の従事者数

注：平成28年までは「病院報告」で把握していたが、平成29年からは「医療施設静態調査」で把握することとなり、平成29年以降は従事者数不詳の病院が存在するため、単純に年次比較することはできない。

(21) 都道府県別・看護補助者配置人数（平均値）

看護補助者配置平均人数（1病院あたり）は、都道府県ごとにばらつきがある。三重県の正規雇用・非正規雇用看護補助者の常勤換算数は、全国平均を上回っている。



※棒グラフは令和2年10月1日現在

また、年度（令和元年度）内離職率は、**正規雇用が25.6%、非正規雇用が32.9%**であった。